

## 永井博先生を悼む 基礎への意志

著者	栗原 靖
雑誌名	筑波哲学
号	22
ページ	6-8
発行年	2014-03
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2241/00122490">http://hdl.handle.net/2241/00122490</a>

## 基礎への意志

栗原 靖

高校時代、私は独我論に悩まされ続けて居りました。それは避け得ないものに思われるにもかかわらず、事実はそのようには生きていないという自覚もあって、居心地の悪い毎日を送って居ました。数学の問題を解いている時は、比較的これを忘れて居れた事もあって、その才能はともかくとして、数学者になるしかないと思いつめたりもしていました。だが、大学に入ってからも、独我論の傾向はますます強くなり、わたしは数学をも断念し、数理哲学の下村先生や永井先生の居られる教育大の哲学科にもぐり込みました。

しかし、無論、哲学科はクリニックではないわけで、ここで初めて私は哲学と正面から向き合わざるを得なくなり、遅まきながら西田哲学なども摘み喰いしたりして、何時の間にか、目から鱗が落ちるように、独我論からは解放されていました。

永井先生はそういう私に、折に触れて、ニコニコ声をかけて下さっていました。これを励みとして、私はゲンツエンとか、いわゆる数学基礎論の勉強を始めました。あわせて無論、下村先生とか、永井先生、田辺元とかウイトゲンシュタインの諸著作を読んだりもしていましたが、私の修士課程は結局、基礎論と数学の哲学のお勉強に終わってしまいました。

私は迷っていました。基礎論は基礎付けの要求に必ずしも応えていない。それはそうだとすると、この要求に存在論的に応えるというよりも、それを解消しようとするウイトゲンシュタインが、魅力的でした。当然、博士課程に進学するつもりで居たのですが、院試の日付けを間違うという情けない事態を引き起こしてしまいました。意識的に逃げたのではないのですが、実はそれ以後の展望を見失っていたのかもしれない。永井先生は憮然とされて居られました。

博士課程在学中、下村先生から弘前の教養部へ行かないかというお話がありました。この時提出した、ウイトゲンシュタインの哲学の性格を論ずる、あやしげな論文に当然のことながら先方から疑義が出ました。下村先生の指示で、私は西馬込の永井

先生のお宅へ伺い、先生の目の前で、脂汗を流しながら、補足的説明の作文を書きました。昨日のこのように思い出します。

先生は絶えず、ニコニコとされていました。私は慙然を予想していたので、これは意外でした。その節はお世話になりました。

にもかかわらず、私は先生を失望させてしまったのではないかと考えています。もし、哲学に正統というものがあるとすれば、それは現代においては永井先生の哲学が最上のお手本であると私は信じているのですが、ウイトゲンシュタインに引かれて、わたしはこの正統からはずれてしまいました。

永井先生は、現代哲学の基礎的諸問題を丁寧に吟味され、存在は思惟に還元されないものとして、科学主義の哲学を批判され、科学的思惟の成立根拠を問題にして、その存在論的基礎付けの必然性を主張して居られました。

科学的思惟は、科学的に成立するものではないとして、科学を超えたメタサイエンスの場所を開示し、この場所において初めて可能になるものとして、宇宙の存在から、意識の主体である人間の存在に至る諸存在を、重層的・複合的連関の中に置き、その上で、この不確実、非決定ではあるが、限定された存在の全体を、真実在からの限定として解釈することが哲学であると考えて居られました。

先生の基礎付けは、その意味で、それ自体は隠れている、存在の全体からの限定として、あるいは意識の立場からいえば、それ自体は隠れている全体的意識の底から、選択的に世界像を形成する事だと考えられています。それは隠れた真実在の呼び声に応える事であり、真実在の分身として、真実在の、閉じては開く創造的發展に寄与することでもあります。先生の哲学は、この意味で、常に途上にある哲学であるように思われます。

基礎付けの哲学が、途上にある哲学であり得るか、先生はさらなる哲学の基礎として、存在の全体と、それ自身、重層的・複合的統一体である全体的意識は、隠れた真実在において、二にして一であるとするメタフィロソフィーを置いて居られます。どこまでも先生の哲学は正統に属すると思われる所以でもあります。

世界の中であって、そこから人間と世界の基礎を考察される先生の誠実さがそこにはあります。何も隠されていないとして、実は怠惰な孤高を独善的に気取っているのかも知れない立場に対して、慙然とした沈黙のお叱りの声を聞く思いがしないので

ありません。

「落ちこぼれ」からの永井先生回想でした。

(くりはら・おさむ 弘前大学名誉教授)